

## 3-2 近郊市街地景観

### (1) 近郊市街地景観の特性

かつては田園の中に古墳群や伝統的な集落地、ため池が点在していた地域で、今なお、ところどころに田園景観が残されています。大正期から戦前にかけて、浜寺一帯が海浜別荘地として開発され、周辺では現在も良好な住環境が維持されています。また、戦後には鉄道の敷設にあわせて市街化が進み、公的住宅の整備や土地区画整理事業が早い時期から進められた地域です。



いたすけ古墳



浜寺昭和町の住宅地



新金岡団地

## 1) 自然から見た景観特性

- ・地域の大部分は平坦な地形ですが、北・西区と中区の境界部付近から南東に向かって標高 30～100mのゆるやかな丘陵地形となります。
- ・狭山池から、北の大和川に注ぐ狭間川・光竜寺川と、西の臨海部に注ぐ石津川・和田川・百済川・百舌鳥川・伊勢路川が主な水系を構成しています。
- ・古くから河川やため池の水利を利用して農業が営まれており、現在でも点在する農地のほかに長池・菅池・森池・菰池・水賀池といったため池を各所に見ることができます。
- ・百舌鳥古墳群のニサンザイ古墳やいたすけ古墳、御廟山古墳のほか、大泉緑地や白鷺公園、家原大池公園といったアメニティあふれる広い公園や緑地が点在しています。
- ・海に開かれた臨海部の景観が特徴的で、石津漁港、さらには浜寺公園の海浜リゾートなど、海との多様な関わりが形成されてきました。



金岡の菅池



大泉緑地



浜寺公園



長尾街道



百舌鳥八幡宮

## 2) 歴史・文化から見た景観特性

- ・古くから河川やため池の水利を活かした農業が営まれており、早い時期に鉄道が開通し開発が進んだ浜寺周辺を除いて、昭和初期頃までは農業集落を中心とした田園地帯が広がっていました。
- ・北部には長尾街道、竹内街道、西高野街道が通り、その街道沿いに集落が形成されました。現在でも街道沿いに家原寺・大鳥大社・日部神社・百舌鳥八幡宮・金岡神社といった由緒ある寺社が残り、伝統ある祭りを今に受け継いでいるとともに、往時をしのばせるまちなみが各所に見られ、地域の人々の誇りとなっています。
- ・石津川沿いの毛穴地域は和さらしなどの伝統工業が盛んであった地域で、現在でも石津川沿いには工場の集積が見られます。

### 3)市街地形成の経緯から見た景観特性

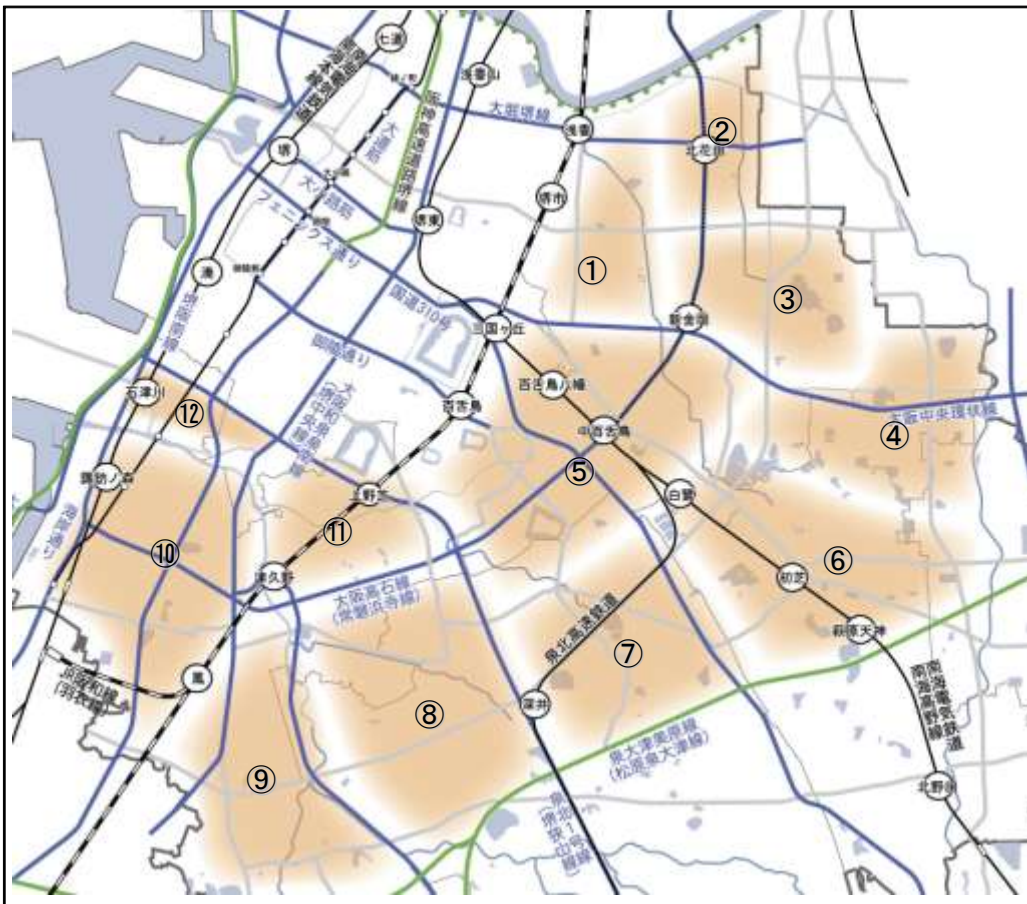
- ・明治6年に日本最初の都市公園の1つとして浜寺公園が開設され、明治21年には阪堺鉄道(現・南海本線)が開通しました。大浜に水族館・公会堂や潮湯などのレジャー施設が整備されるなど、周辺は大阪都市圏に隣接する海浜リゾート地として発展し、浜寺一帯においては、高級住宅地・別荘地の開発が進められました。
- ・昭和30年頃から市街化が進み、鉄道駅周辺などにおいて集落を中心として市街地が拡大していきました。東浅香山や金岡・新金岡、向ヶ丘などの公的住宅団地の整備や土地区画整理事業の進展もあって、人口は急激に増加していきました。
- ・泉北ニュータウンの建設に伴う泉北高速鉄道の開通、大阪中央環状線の整備や地下鉄御堂筋線の延伸、さらには泉大津美原線(松原泉大津線)や阪和自動車道の開通など、交通基盤の整備が進み、市街地はさらに拡大しました。現在においても大阪都市圏に近接する住宅地として発展し、鳳、北花田、新金岡、中百舌鳥など、交通利便性の高い鉄道駅周辺で拠点の整備が進んでいます。



浜寺昭和町の戦前の住宅



泉大津美原線



- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| ①東浅香山町・大豆塚町・東三国ヶ丘町周辺 | ⑦深井水池町・土塔町・関茶屋周辺     |
| ②北花田町・常磐町・宮本町周辺      | ⑧深井清水町・家原寺町・堀上町周辺    |
| ③新金岡町周辺              | ⑨上・草部・菱木周辺           |
| ④石原町・中村町・野遠町周辺       | ⑩浜寺昭和町・浜寺諏訪ノ森町・鳳北町周辺 |
| ⑤長曾根町・中百舌鳥町・金岡町周辺    | ⑪上野芝町・津久野町周辺         |
| ⑥白鷺町・野尻町・日置荘西町周辺     | ⑫石津町周辺               |

## ア) 拠点(駅前等)

### ○中百舌鳥都市拠点

- ・ 土地区画整理事業及び地区計画の指定による駅前を中心とした公共公益施設の整備のほか、土地の高度利用や商業・業務施設の整備を進めてきました。
- ・ 大阪市営地下鉄御堂筋線の終着駅として、大阪都市圏に直接アクセスできる利便性の良さから、最近ではマンションなどの建設が進んでいます。



中百舌鳥駅前

### ○北花田駅周辺

- ・ 民間社宅の広大な跡地に大規模なショッピングセンターが建設され、多くの人々が訪れる商業空間となりました。地区計画の指定により複合的な都市機能の導入と周辺との調和が図られました。
- ・ 大阪市営地下鉄御堂筋線の沿線であり利便性が高く、マンションなどの建設が進んでいます。



北花田駅前の商業施設

### ○新金岡駅周辺

- ・ 金岡東新住宅市街地開発事業により住宅・都市整備公団(現・都市再生機構)や大阪府による住宅整備が進められ、中高層を中心とした公的住宅が周辺に建設され、その玄関口を担ってきました。駅前には商業施設が立地しています。
- ・ 駅の周辺は整形の街区が形成されており、街路樹の緑あふれる見通しの良い沿道景観が特徴的です。
- ・ 公的住宅の老朽化に伴い、現在は、その建て替え事業なども進められています。



新金岡駅前

### ○深井駅周辺

- ・ 駅周辺で土地区画整理事業が実施され、公共公益施設など(中区役所・ソフィア堺など)が整備されたことに伴い、近隣型商業施設の集積が進み、にぎわいある景観が形成されつつあります。



深井駅前

### ○上野芝駅周辺

- ・ 上野芝駅は JR 阪和線と泉北1号線とが交わる位置にあり、周辺には商業施設やマンションなどが立地するほか、駅の北部には敷地規模の大きい邸宅が立地し、落ち着いた住宅地景観を形成しています。



上野芝駅前

### ○浜寺公園駅周辺

- ・ 浜寺公園駅は浜寺公園への玄関口であり、海浜リゾート地の風情を残す建築物や樹木などの立地が見られます。南海本線の



浜寺公園駅

連続立体交差事業にあわせて、近代洋風建築である駅舎の保全活用構想が策定されています。

- ・周辺には高級別荘地の名残を伝える邸宅などが立地していますが、こうした歴史的な建築物の更新が次第に進みつつあります。

### ○鳳駅周辺

- ・熊野街道沿いに古くから開けたまちで、駅前には昔ながらの商店街が連なっています。
- ・平成14年7月に駅南側が都市再生緊急整備地域に指定され、駅周辺では道路・公園等の基盤整備が進められているほか、大型商業施設やマンションが立地し、市の西の玄関口として拠点性が高まりつつあります。



鳳駅周辺の商業施設と公園

### ○初芝・萩原天神駅周辺

- ・駅周辺は戦前に開発された郊外住宅地の名残が残っておりますが、道路幅員が狭く密集した市街地も残されています。



大阪高石線(常磐浜寺線)

## イ)軸(道路・鉄道等)

### ○大阪高石線(常磐浜寺線)

- ・近郊市街地を南北に貫く主要な幹線道路で、広幅員の沿道には沿道型の商業施設が多数立地し、にぎわいのある景観となっていますが、屋外広告物が多く設置され、中には沿道の景観を阻害するものも見受けられます。



大阪中央環状線

### ○大阪中央環状線

- ・松原市、羽曳野市方面へと接続する広幅員の幹線道路で交通量が多く、それに伴って屋外広告物の設置も目立っています。
- ・大規模な商業施設などの立地が見られますが、東部には農地などのゆとりのある空間も広がっています。



大阪臨海線

### ○海岸通り(堺阪南線)・大阪臨海線

- ・湾岸部を南北に貫通する道路で、阪神高速湾岸線の高架が平行して走り、沿道は工場などの立地が中心となっています。
- ・防風・防潮のための樹林帯が設置されており、緑豊かな沿道景観を形成しています。



国道310号

### ○国道310号

- ・三国ヶ丘駅付近を通過し大阪狭山市方面へと接続する道路で、沿道には生活利便施設や飲食施設などが連担した沿道景観を形成しています。
- ・屋外広告物が多く設置され、中には沿道の景観を阻害するものも見受けられます。

### ○国道 26 号

- ・高石市方面へと接続する主要な幹線道路であり、交通量も多く、広幅員であることから、車での利用を中心とした沿道型の商業施設などの立地が目立ちます。

### ○泉北 1 号線(堺狭山線)・泉北高速鉄道

- ・石津方面から深井を経て、泉北高速鉄道沿いに光明池・和泉中央方面へと続く主要な幹線道路です。
- ・幅員が広く、沿道の街路樹や中央分離帯の植栽が整備されており、周辺には住宅の立地が多いことから、緑豊かでのびやかな沿道景観を形成しています。
- ・臨海部付近では商業施設などの立地も目立ち、混在型の土地利用となっています。
- ・深井駅周辺には沿道型の商業施設が立地しています。

### ○泉北 2 号線(堺かつらぎ線)

- ・石津川沿いを津久野駅方面に向かう幹線道路で、沿道には工場などのほか、商業施設や住宅などが立地しています。

### ○泉大津美原線(松原泉大津線)・阪和自動車道

- ・阪和自動車道の高架とその下を走る泉大津美原線は、市域を東西に貫通しています。沿道には田畑などが広がり、一部では市街化されたり、建設資材置き場などに利用されている様子も見られます。



泉北 1 号線(上野芝駅周辺)



泉北 2 号線

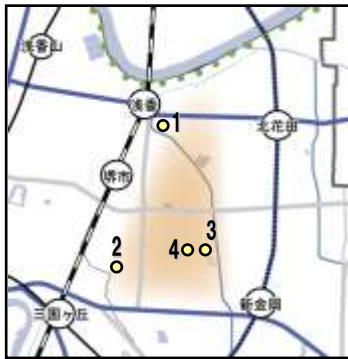


泉大津美原線

## ウ) 地域別の景観

### 【①東浅香山町・大豆塚町・東三国ヶ丘町周辺】

- ・長尾街道の名にちなむといわれる長尾町をはじめとする集落では、民家や豊かな植栽がまちなみをひきたてています。その周辺は、戦前に耕地整理により区画が形成された地域と、公的住宅団地からなる地域です。
- ・金岡団地は日本住宅公団による最初の団地であり、初期の公団住宅で採用された星型住宅(スターハウス)が多数建設されましたが、すでに建て替えなどにより解体され、現在はメモリアル広場にモニュメントとして部分的に保存されています。



1 集落のまちなみ



2 星型住宅をモチーフにした集会所



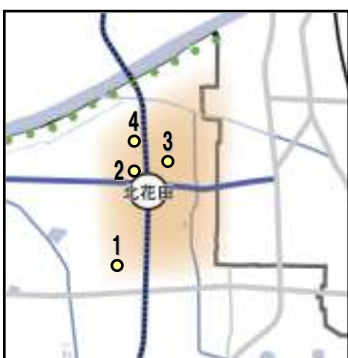
3 金岡公園



4 官舎が建ち並ぶまちなみ

### 【②北花田町・常磐町・宮本町周辺】

- ・地域の東側は、土地区画整理事業により整備された整然とした街区の中に、戸建てや集合住宅が混在した景観となっています。地域の西側には、公的住宅団地の景観、大阪高石線(常磐浜寺線)沿いの大型商業施設のにぎわいある景観が見られます。
- ・長尾街道が東西に通る、蔵前町、船堂町、新堀町では歴史あるたたずまいが見られます。



1 長尾街道



2 大型商業施設



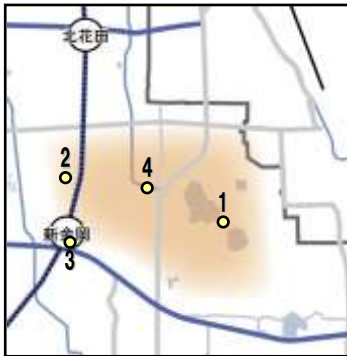
3 土地区画整理事業地の住宅



4 高層マンションが建ち並ぶ景観

### 【③新金岡町周辺】

- ・緑豊かな環境と成熟した団地景観が特徴です。
- ・光竜寺川沿いの桜並木と石垣、大泉緑地とそれにつながるけやき並木などの自然景観が見られます。
- ・新金岡駅前には商業施設が集まり、にぎわいのある景観を形成しています。



1 大泉緑地の多彩な自然



2 新金岡住宅



3 新金岡駅前の商業施設



4 光竜寺川

### 【④石原町・中村町・野遠町周辺】

- ・古くから水田耕作が行われた地域で、石原町遺跡が位置しています。市街地に隣接して田園が広がり、四季折々に美しい風景が見られます。
- ・大阪中央環状線沿道には、堺中央総合卸売市場やごみ焼却場、商業・製造業などの建物が並んでいます。



1 集落のまちなみ

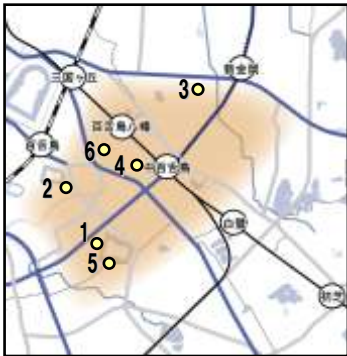


2 南八下の田園



【⑤長曾根町・中百舌鳥町・金岡町周辺】

- ・古代から近代にかけての歴史を物語る、古墳や街道、集落と新しいまちづくりが共存しています。
- ・長曾根町から金岡町にかけて竹内街道が通り、旧集落の歴史あるたたずまいが見られます。その南の中百舌鳥町では、土地が整然と区画され、戸建て住宅やマンションの景観、商業・業務ビルによる駅前景観が形成されています。
- ・西高野街道、筒井家、高林家などの伝統的な住宅建築や近代洋館建築、百舌鳥八幡宮、ニサンザイ古墳やいたすけ古墳、御廟山古墳をはじめとする古墳群などさまざまな歴史景観資源と、その周辺の住宅地が一体となって、堺を代表する歴史景観エリアを形成しています。
- ・この地域に残る多くのため池では、地域ぐるみで花を植える活動が行われています。また、周囲に遊歩道を設けて、散策や憩いの場として活用されている事例もあります。



1 古墳に隣接する御陵山公園



2 国の重要文化財・高林家住宅



3 長曾根町の集落のまち



4 筒井家住宅と大楠



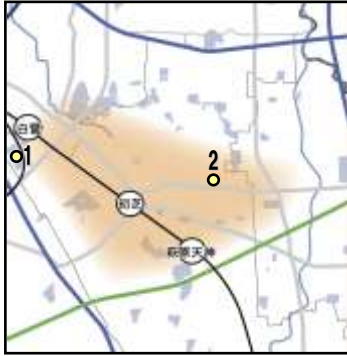
5 古墳と調和した住宅地



6 市街地に残る近代建築

【⑥白鷺町・野尻町・日置荘西町周辺】

- ・初芝は、戦前から戦後にかけて郊外住宅地として市街化した地域で、計画的に良好な住宅地が形成され、現在も当時の建築やロータリーが残っています。
- ・白鷺駅周辺では大阪府立大学と、緑豊かな白鷺団地が特徴ある景観要素です。
- ・ハナショウブで有名な白鷺公園、サギをはじめ野鳥の営巣地である大津池、萩原天神などが地域の特徴的な自然・歴史景観です。



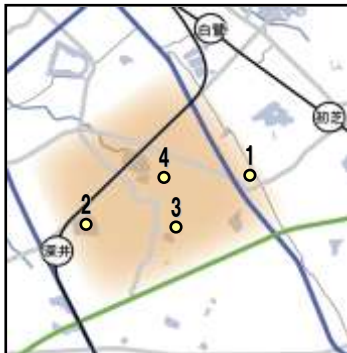
1 白鷺公園



2 初芝の住宅地

【⑦深井水池町・土塔町・関茶屋周辺】

- ・集落の周囲や幹線道路沿いでは、徐々に市街化が進んでいますが、まとまった農地も残っている地域です。
- ・土塔町公園では、奈良時代の僧・行基が土と瓦で建立した土塔(国指定史跡)が創建当時の姿に復元整備されました。また、西高野街道沿いの関茶屋、ため池を身近に活かす環境づくりに取り組んでいる菰池やツツジで有名な水賀池といった、シンボリックな歴史・自然景観が見られます。



1 関茶屋のまちなみ



2 水賀池公園のツツジ



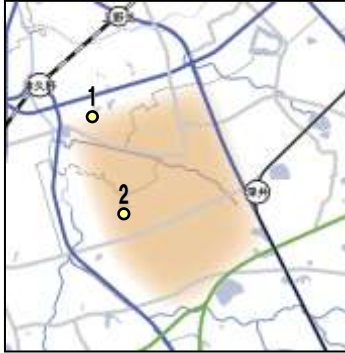
3 土塔町公園



4 土塔町の集落のまちなみ

【⑧深井清水町・家原寺町・堀上町周辺】

- ・行基ゆかりの土地で、家原大池公園、蜂田神社と鈴の宮公園、ため池を保全した公園や市民が育てる花のこみちなど、多彩な歴史・自然景観が見られます。
- ・深井駅周辺や幹線道路沿いには、公共や民間のすぐれたデザインの建築物が見られます。



1 家原寺の三重塔



2 神社に隣接する鈴の宮公園

【⑨上・草部・菱木周辺】

- ・熊野街道沿いに古くから開けたまちで、今も歴史的なまちなみが残っています。また、日部神社の本殿は国の重要文化財に指定されており、その建築時期は中世にさかのぼると推測されています。
- ・鳳駅周辺では、道路や公園など公共施設の整備が進むとともに、大型商業施設や高層マンションなどが立地し、歴史のまちの駅前景観は大きく様変わりしています。
- ・石津川沿いには、和さらしなどの工場が集積しています。
- ・上地区の中之池では、ため池の改修工事とあわせて植栽や散策路の整備が行われ、市民と行政が協力して環境が保全されています。



1 熊野街道



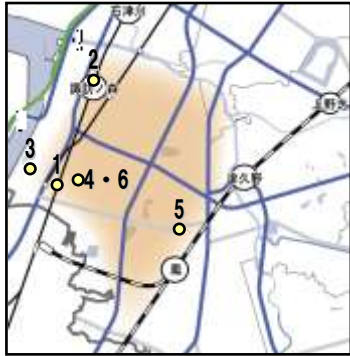
2 鳳公園



3 西区役所

【⑩浜寺昭和町・浜寺諏訪ノ森町・鳳北町周辺】

- ・熊野街道や紀州街道沿いに古くから開けたまちで、大鳥大社とお祭がまちの原風景となっています。
- ・浜寺昭和町は大正～昭和初期につくられた海浜保養地の別荘地をルーツとし、須磨・芦屋・帝塚山などとならぶ昭和戦前期の住宅地です。和風、近代和風、洋館、数奇屋造りなど、貴重な歴史的建造物群が残っています。近年は敷地が細分化して建て替わったり、集合住宅が立地したりするなど、住環境の変化も見られます。
- ・南海本線の高架化事業中であり、国の登録有形文化財である近代洋風建築の浜寺公園駅、諏訪ノ森駅の現駅舎は、高架後も保存・活用されます。



1 浜寺公園駅(明治 40 年建築)



2 諏訪ノ森駅(昭和 8 年建築)



3 浜寺公園の松林



4 近代様式の邸宅



5 大鳥大社



6 浜寺昭和町のまちなみ

【⑪上野芝町・津久野町周辺】

- ・世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群の周辺に戦前に開発された住宅地が、緑豊かな環境を保っている地域です。
- ・上野芝町には、敷地面積の大きい邸宅が多く現存しており、生垣の緑が連続した落ち着いた住宅地景観が形成されています。



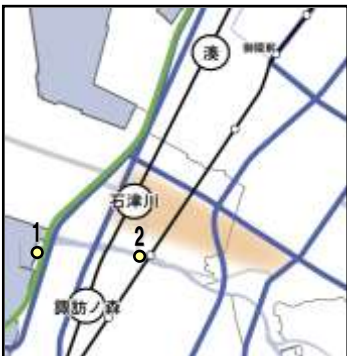
1 上野芝の住宅



2 津久野駅前

【⑫石津町周辺】

- ・石津周辺は、石津川と石津漁港のあるまちで、かつては風車が並ぶ野菜畑や川沿いで和さらしを干す工場が多く見られました。そこに比較的大規模な工場が立地し、近年はその跡地に小規模な戸建て住宅開発と、集合住宅の立地が進みました。



1 石津漁港



2 石津川

## (2) 近郊市街地景観の課題

近郊市街地は、かつて農村地帯であったところに、市街化が急激かつ広範に進んだことから、市街化された時期により多様な景観が形成されました。そのため、近郊市街地全体を一つの景観として把握することは困難ですが、各地域にはそのなり立ちに応じた特徴的な景観特性があり、また保全・活用すべき景観資源が数多く分布しています。特に緑豊かな歴史景観を有する百舌鳥古墳群や、良好な郊外住宅地の景観を有する上野芝や浜寺などにおいては、地域の魅力を磨きあげ、市の景観形成を先導する地域として積極的な景観形成を図っていくことが求められます。

また、駅前を中心に拠点形成が進み、市街地整備事業などにより新たな景観が生まれていますが、こうした都市の更新にあたっては、周辺との調和に配慮しつつ、地域の拠点としてにぎわいのある景観形成も求められます。

一方で、市街化が急激に進んだことから、住宅と商業施設・工場が混在する地域も見られ、こうした場所では双方の調和を図り、暮らしの場としての景観の向上もあわせて求められます。

地域別の景観形成の課題としては以下が挙げられます。

- ・ 浜寺、上野芝、初芝など堺の住宅地イメージを代表する地域においては、緑豊かで良好な住環境の保全を図る必要があります。
- ・ 百舌鳥古墳群周辺では、古墳とその他の歴史資源、住宅地が一体となった市街地景観の保全とともに、商業系用途地域における高度利用といった都市側施策との整合が課題となっています。
- ・ 中百舌鳥都市拠点、鳳駅、深井駅周辺では拠点の形成が進められており、市街地整備とあわせて魅力ある拠点として質の高い景観形成も求められます。
- ・ 地域の拠点や、沿道型の商業施設などが並ぶ幹線道路沿いでは、屋外広告物がにぎわいを演出する反面、景観を阻害する要因となっている事例も見られます。

### (3) 近郊市街地景観の方針

古代の百舌鳥古墳群や史跡土塔、中世から近世の社寺や集落、街道、戦前の郊外住宅地や洋館建築などの歴史景観と、ため池や社寺林、農地などの自然景観が市街地の中に存在する近郊市街地の景観を守り育てるため、景観形成の目標を次のように定めます。

#### 暮らしの中で歴史・文化、自然が織りなす多彩な景観の保全と創造

そして、この目標を実現するための方針を次のように定めます。

1. 地域の拠点となる鉄道駅前においては、それぞれの地域特性を踏まえ、にぎわいの創出や周辺との調和をめざします。中百舌鳥都市拠点、鳳駅周辺など市街地整備が進められている拠点では、地域の拠点として質の高い景観形成を図ります。
2. 幹線道路沿道においては、節度あるデザインにより、まちなみの調和やまとまりに配慮した秩序ある景観形成をめざします。
3. 良好な住環境が保たれている郊外住宅地とその周辺では、歴史ある住宅と緑豊かでゆとりあるまちなみの保全を図ります。
4. 百舌鳥古墳群とその周辺住宅地においては、歴史的遺産を保全するとともに、それらと一体となった良好な都市景観の形成を図るため、古墳周辺の建築物について積極的な景観誘導を推進します。
5. 工場と住宅が共存する地域では、工場に周辺との調和に配慮した開放的なイメージのデザインを取り入れ、暮らしと生産の場が共存する潤いある景観形成をめざします。
6. 周辺環境との調和に留意しながら、地域に分布する緑・水系・ため池といった特徴的な自然景観の保全と活用を図ります。
7. 歴史的まちなみや建築物などの歴史資源を地域のシンボルとして活用し、地域全体のよりよい景観づくりをめざします。